

三好中学校三年生からのお願い

私たち三好中学校三年生は、卒業前の社会貢献活動の一環として、「市民憲章を広げる」という活動をしています。そこで、小学生に市民憲章について知ってもらうために、貴校の先生方のご協力を頂けないでしょうか。

貴校ではSDGsの学習を行っていると同いました。SDGsと市民憲章は通ずる部分があると私たちは考えました。そのため、SDGsの授業の一部という形で、市民憲章を小学生に普及したいと考えています。

進行の仕方を考えてみました。以下の文を参考にしてください。

1. SDGsの身近な例として市民憲章を挙げる。
2. こちらで用意しているチェックシートを配布し、裏面を見て、どの項目にどんな意味があるのか、小学生が読んで理解する。
3. それらの実現には具体的にどうしていくことが必要かを考え、チェックシート(裏)に記入。
4. 何人かに発表してもらおう。
5. チェックシートに一つある空欄(表)に、話し合いで出た、または一人ひとりが考えた、市民憲章の実現のための具体的な行動を書く。
6. 配布の一週間後、一週間やってみて、できたこと・できなかったことを宿題として記入させて、ちゃんと書いているか先生が回収して確かめる。
7. 配布の二週間後、市民憲章の実現のためにこれからどうしていこうと思うかを記入させ、先生が回収してチェックする。
(時間があれば、学級の皆の前で発表させる。)

※お忙しいとは思いますが、実施していただけると幸いです。

市民憲章について考えることは、SDGsの学習にも、みよし市について深く知ることもつながると思います。20年、30年後のみよし市を担うのは、今の小学生たちです。そんな彼らが市民憲章に沿った行動をしていけば、未来のみよし市は今以上の素晴らしいまちになると、私たちは考えています。そのきっかけを創るためには、貴校の先生方のご協力が必要不可欠です。

貴校の綿密な授業計画の中に私たちの提案を組み込むのは難しいことかもしれませんがご検討よろしく願いいたします。

発案・計画 近藤秀哉 牧村大輝 高橋智子 小林高太郎